

2. 支援実績

1. 総合相談窓口

相談専用電話を設置し、高次脳機能障害に関する相談全般に対応している。支援コーディネーターを配置し、当事者や家族、関係機関からの相談に対し、助言・情報提供、地域の関係機関と連携し就労や施設利用などの支援も行っている。

また県リハにおける高次脳機能障害専門外来受診に関する相談を行っている。

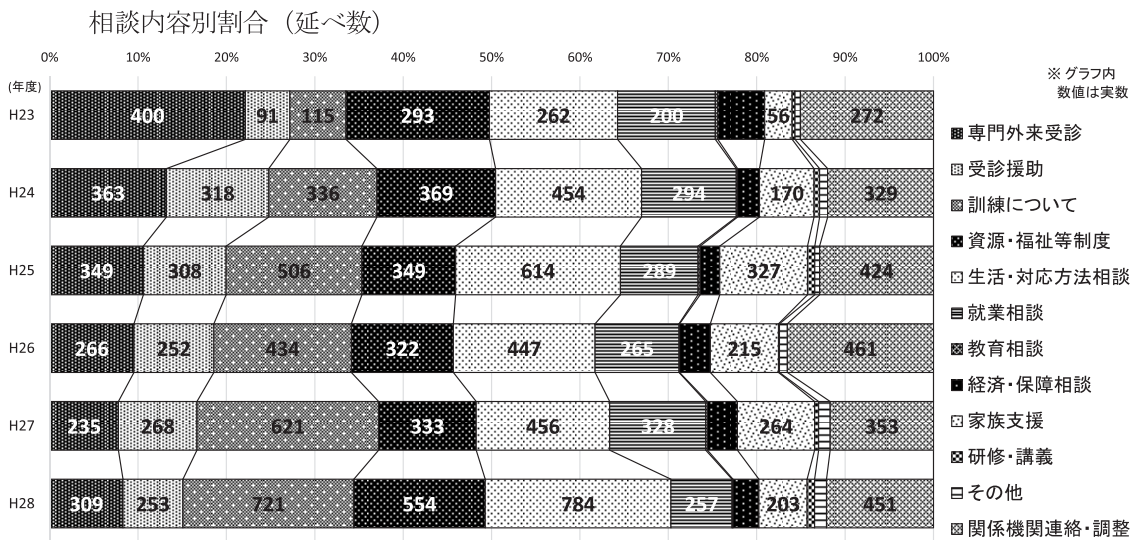
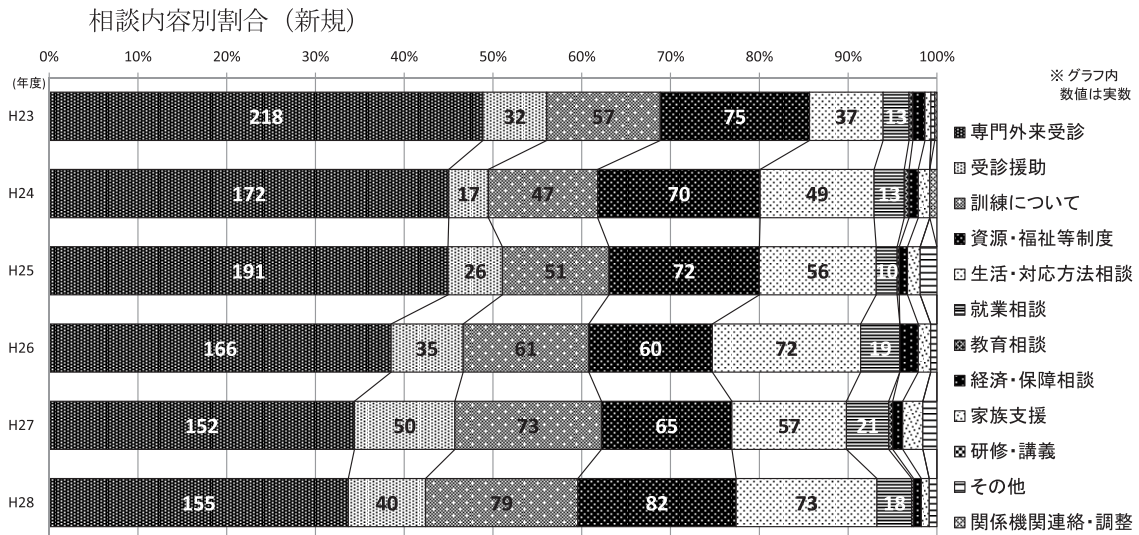
(1) 相談内容

新規相談数は年 450 件前後で推移しているが、延べ件数は増加傾向にある。

内訳は、「専門外来受診」が減少傾向で、「訓練について」、「生活・対応相談」の占める割合が増えてきている。

なお、ケア会議や施設への訪問等は「関係機関連絡・調整」に含まれ、高次脳機能障害者地域相談支援（サポート）事業は「生活・対応方法相談」に含まれる。

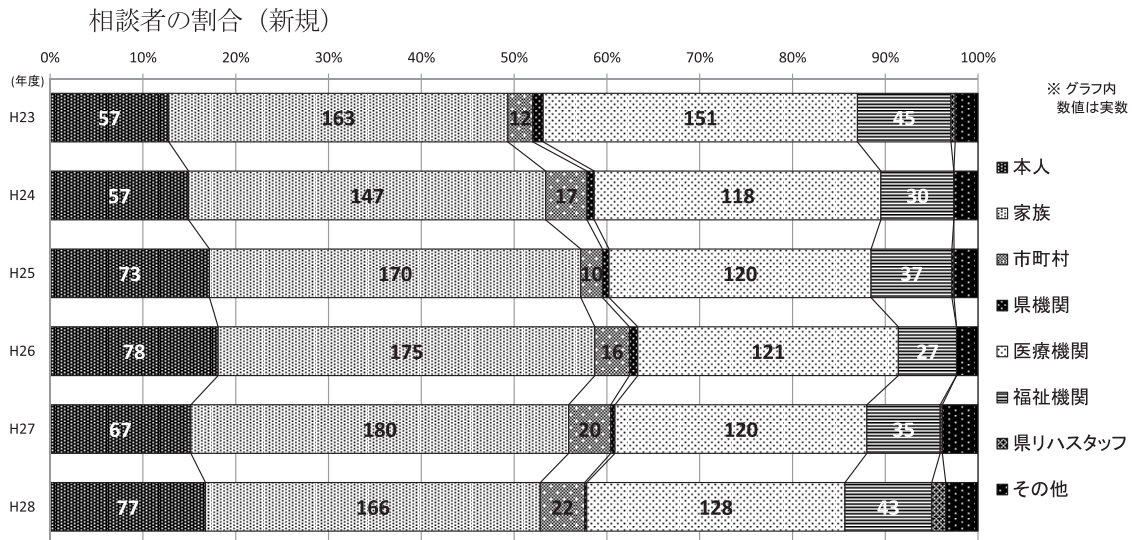
相談内容(件)	H23 年度		H24 年度		H25 年度		H26 年度		H27 年度		H28 年度		計	
	新規	延べ 件数	新規	延べ 件数	新規	延べ 件数	新規	延べ 件数	新規	延べ 件数	新規	延べ 件数	新規	延べ 件数
専門外来受診	218	400	172	363	191	349	166	266	152	235	155	309	1054	1922
受診援助	32	91	17	318	26	308	35	252	50	268	40	253	200	1490
訓練について	57	115	47	336	51	506	61	434	73	621	79	721	368	2733
資源・福祉等制度	75	293	70	369	72	349	60	322	65	333	82	554	424	2220
生活・対応方法相談	37	262	49	454	56	614	72	447	57	456	73	784	344	3017
就業相談	13	200	13	294	10	289	19	265	21	328	18	257	94	1633
教育相談	2	5	2	4	1	8	0	2	2	6	1	4	8	29
経済・保障相談	6	96	4	68	4	73	9	97	5	102	4	110	32	546
家族支援	3	56	5	170	6	327	6	215	10	264	4	203	34	1235
研修・講義	0	6	0	17	0	27	0	3	0	14	0	32	0	99
その他	2	11	0	25	8	18	3	25	7	39	4	50	24	168
関係機関連絡・調整	1	272	3	329	0	424	0	461	0	353	0	451	4	2290
合計	446	1807	382	2747	425	3292	431	2789	442	3019	460	3728	2586	17382



（２）相談者

「家族」が４割弱、「医療機関」が２割前後を占め、「本人」（当事者）、「福祉機関」、「市町村」の順になっている。

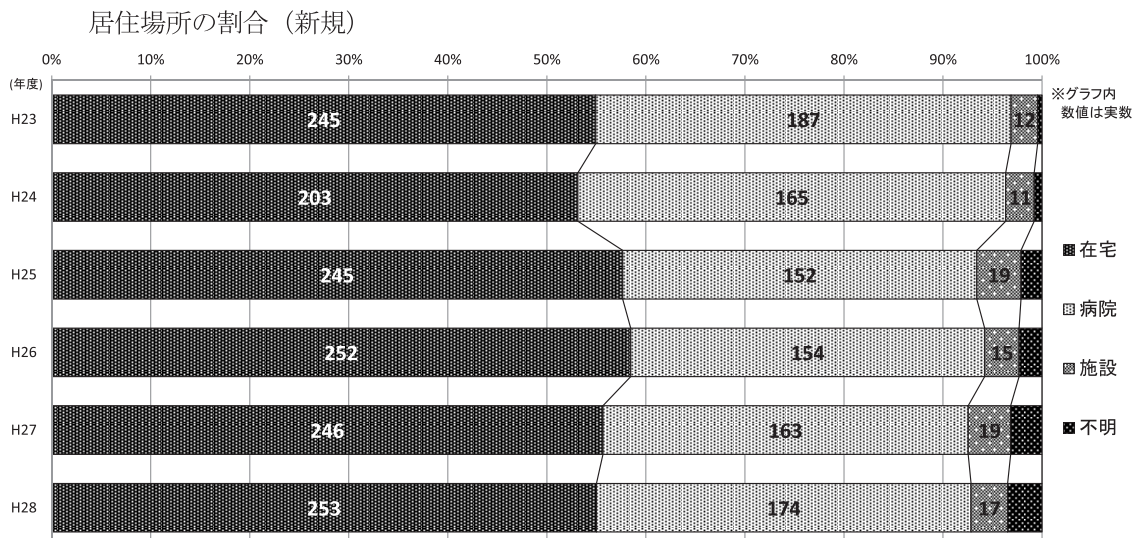
相談者(人)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
本人	57	57	73	78	67	77	409
家族	163	147	170	175	180	166	1001
市町村	12	17	10	16	20	22	97
県機関	5	3	3	4	2	1	18
医療機関	151	118	120	121	120	128	758
福祉機関	45	30	37	27	35	43	217
県リハスタッフ	2	0	1	0	1	7	11
その他	11	10	11	10	17	16	75
合計	446	382	425	431	442	460	2586



（３）居住場所

当事者は「在宅」が半数以上で、「病院」は４割を下回り減少傾向にあり、「施設」がやや増えている。

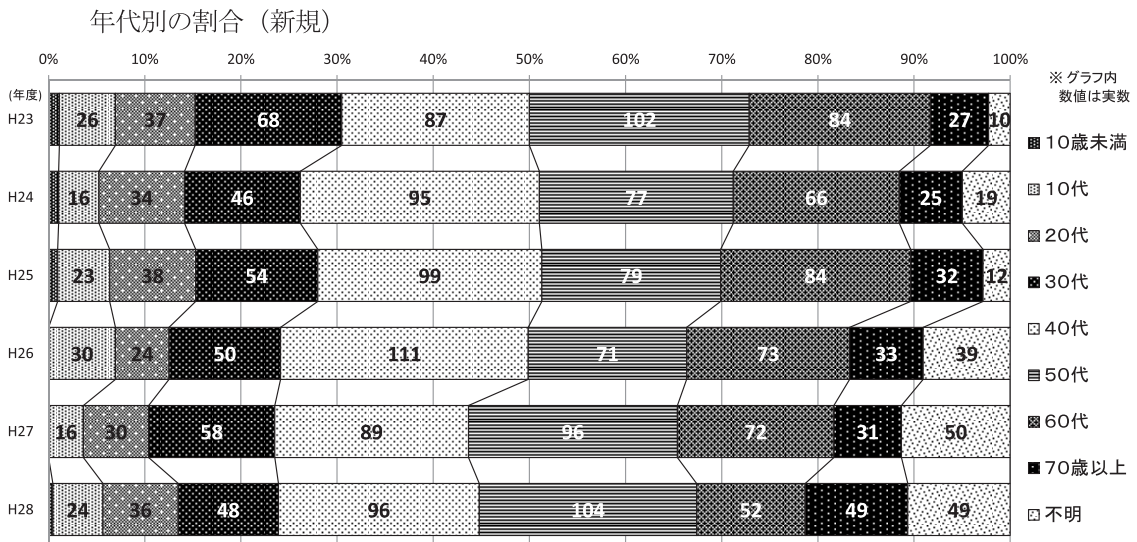
居住場所（件）	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
在宅	245	203	245	252	246	253	1444
病院	187	165	152	154	163	174	995
施設	12	11	19	15	19	17	93
不明	2	3	9	10	14	16	54
合計	446	382	425	431	442	460	2586



(4) 年齢

当事者は「40代」、「50代」が最も多く、それぞれ2割前後を占めている。支援センター開設当初は2割近くだった「60代」は減少傾向にある。

年齢(人)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
10歳未満	5	4	4	0	0	2	15
10代	26	16	23	30	16	24	135
20代	37	34	38	24	30	36	199
30代	68	46	54	50	58	48	324
40代	87	95	99	111	89	96	577
50代	102	77	79	71	96	104	529
60代	84	66	84	73	72	52	431
70歳以上	27	25	32	33	31	49	197
不明	10	19	12	39	50	49	179
合計	446	382	425	431	442	460	2586

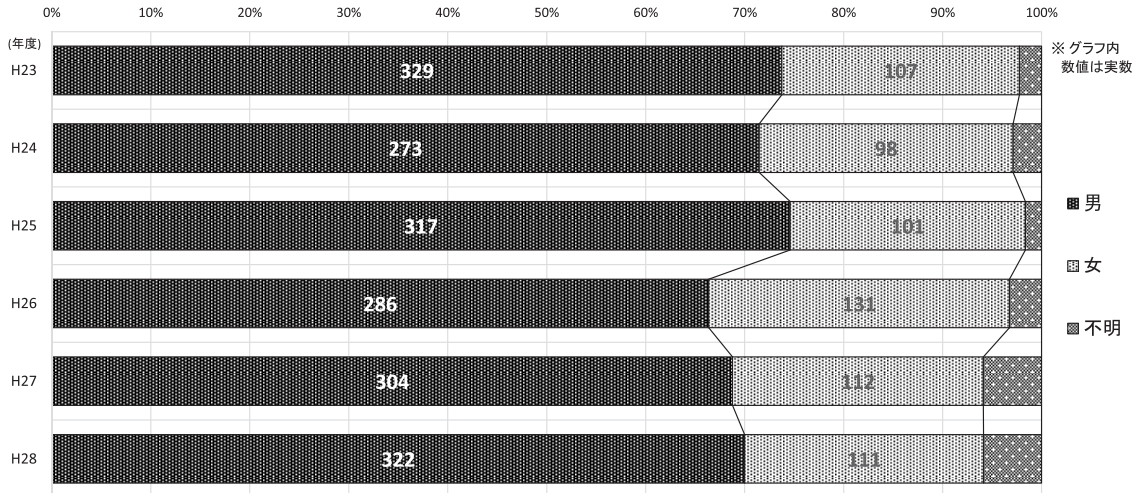


(5) 男女別

「男性」が7割前後で推移している。

男女別(人)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
男	329	273	317	286	304	322	1831
女	107	98	101	131	112	111	660
不明	10	11	7	14	26	27	95
合計	446	382	425	431	442	460	2586

男女別割合（新規）

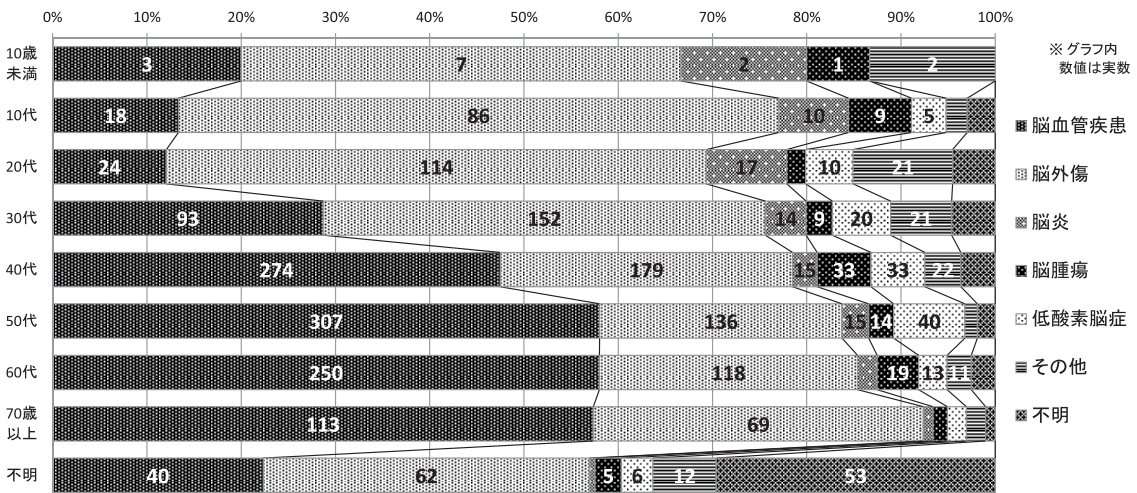


（6）年齢別障害原因（新規受付累計）

20代までは「脳外傷」が半数以上を占め、その後は年齢が上がるにつれて「脳血管疾患」の割合が高くなっている。

年齢別障害原因 (新規累計・人)	脳血管 疾患	脳外傷	脳炎	脳腫瘍	低酸素 脳症	その他	不明	計
10歳未満	3	7	2	1	0	2	0	15
10代	18	86	10	9	5	3	4	135
20代	24	114	17	4	10	21	9	199
30代	93	152	14	9	20	21	15	324
40代	274	179	15	33	33	22	21	577
50代	307	136	15	14	40	7	10	529
60代	250	118	9	19	13	11	11	431
70歳以上	113	69	2	3	4	4	2	197
不明	40	62	1	5	6	12	53	179
合計	1122	923	85	97	131	103	125	2586

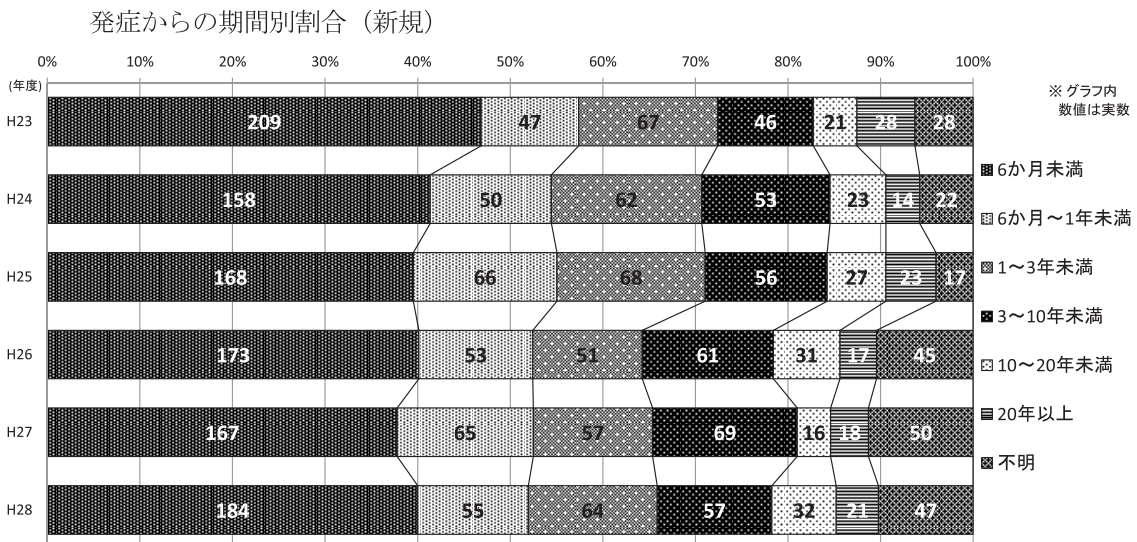
障害原因の割合（累計）



(7) 発症からの期間

新規相談時に発症から「6か月未満」が半数近くに上る一方で、「3～10年未満」、「10～20年未満」も合わせて3割前後を占めている。

発症からの期間 (人)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
6か月未満	209	158	168	173	167	184	1059
6か月～1年未満	47	50	66	53	65	55	336
1～3年未満	67	62	68	51	57	64	369
3～10年未満	46	53	56	61	69	57	342
10～20年未満	21	23	27	31	16	32	150
20年以上	28	14	23	17	18	21	121
不明	28	22	17	45	50	47	209
合計	446	382	425	431	442	460	2586

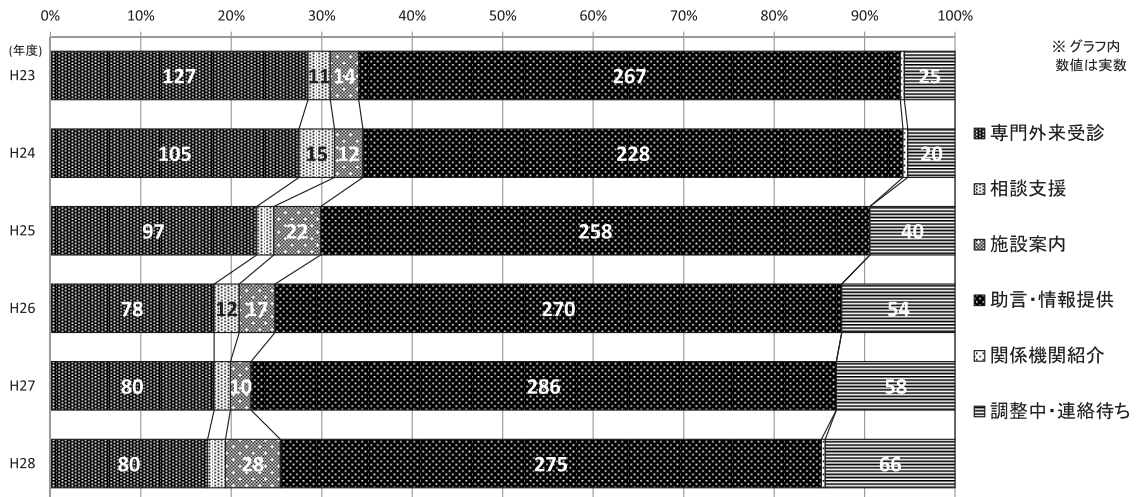


(8) 受付後の対応

「助言・情報提供」が最も多く、「調整中・連絡待ち」と合わせると7割を超えている。「専門外来受診」は減少してきている。

受付後の対応 (件)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
専門外来受診	127	105	97	78	80	80	567
相談支援	11	15	8	12	8	9	63
施設案内	14	12	22	17	10	28	103
助言・情報提供	267	228	258	270	286	275	1584
関係機関紹介	2	2	0	0	0	2	6
調整中・連絡待ち	25	20	40	54	58	66	263
合計	446	382	425	431	442	460	2586

受付後の対応別割合（新規）



2. 診療部門

(1) 専門外来

神経・精神科、神経内科、リハビリテーション科外来において、高次脳機能障害の診断・評価・リハビリを行っている。

初診受診者数は支援センター開設初年度ほど多くはないが、年 70 件以上で推移している。

専門外来 初診受診者数 (人)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
	128	76	84	71	97	70	526

(2) 外来フォローアップカンファレンス

外来に通院中の方に対するケースカンファレンスも実施している。

外来フォローアップ カンファレンス	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
実施回数	48	33	28	29	24	20	182
検討件数	—	102	99	71	46	38	155

※ 表中「—」については計上していなかったためデータなし。

(3) グループ指導（心理）

外来に通院中の方及びその家族を対象に、以下のような内容や目的でグループ指導を行っている。

- ・マイカルテ作成による障害認識の向上
- ・高次脳機能障害の理解を促進するための当事者・家族への心理教育
- ・同じような障害を持つ他者との交流による孤立感の緩和
- ・メモリーノートの習慣化とコミュニケーションスキルの獲得
- ・電話対応の練習、注意訓練課題等の認知訓練
- ・マイニュースと社会的ニュースの発表
- ・目標の設定と進行状況の発表

外来患者グループ指導	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計	
実施回数	19	20	19	20	20	19	117	
延べ参加人数 (人)	当事者	77	70	87	100	97	83	514
	家族	7	25	12	19	47	45	155